

< 農地・水・環境保全向上対策と連携して効果的な取組を実施している事例 >

イノシシ侵入防止ワイヤーメッシュ金網の共同設置

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	佐賀県唐津市七山池原 <small>ななやま いけばる</small>		
協定面積 68.4ha	田(100%)		
	水稲		
交付金額 1,406万円	個人配分 50%		
	共同取組活動 (50%)	集落の各担当者の活動に対する経費	3%
		集落マスタープランを実現するための活動に対する経費	4%
		鳥獣防止対策及び水路、農道等の維持・管理等集落の共同取組活動に要する経費	38%
		農用地の維持・管理活動等を行う者に対する経費	4%
その他の経費	1%		
協定参加者	農業者61人		

2. 取組に至る経緯

池原集落ではイノシシの被害が年を追うごとに拡大してきており、県の単独事業や個人設置により電気牧柵等で対処してきたが、数年前から通年で農地、特に田への侵入がひどくなってきた。

イノシシは、棚田法面に繁茂する雑草の根やミミズなどを餌にしようと、広範囲にわたって深く掘り起こし、畦や水路など原形を留めない程に荒らしてしまうようになってきたため、集落では中山間地域等直接支払交付金及び農地・水・環境保全向上対策の両事業を活用した取組で、農地を囲み被害を防止することになった。

3. 取組の内容

- ・金網規格：(5×75/150×218 1200×2000)
幅2m高さ1.2mの亜鉛メッキ仕上げメッシュ金網

・設置実績

H18 11,000枚 H19 7,500枚 H20 6,800枚
計 25,300枚(延べ延長50.6Km)

- ・総事業費：32,138,050円(支柱・労務費除く)
(うち両事業共同活動事業費：14,344,000円)
(うち直接支払交付金分：10,852,000円)

- ・共同設置を原則に池原集落協定組合と協定者の事業費負担より設置



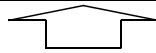
図面上で設置場所確認



設置後の確認

[集落の将来像]

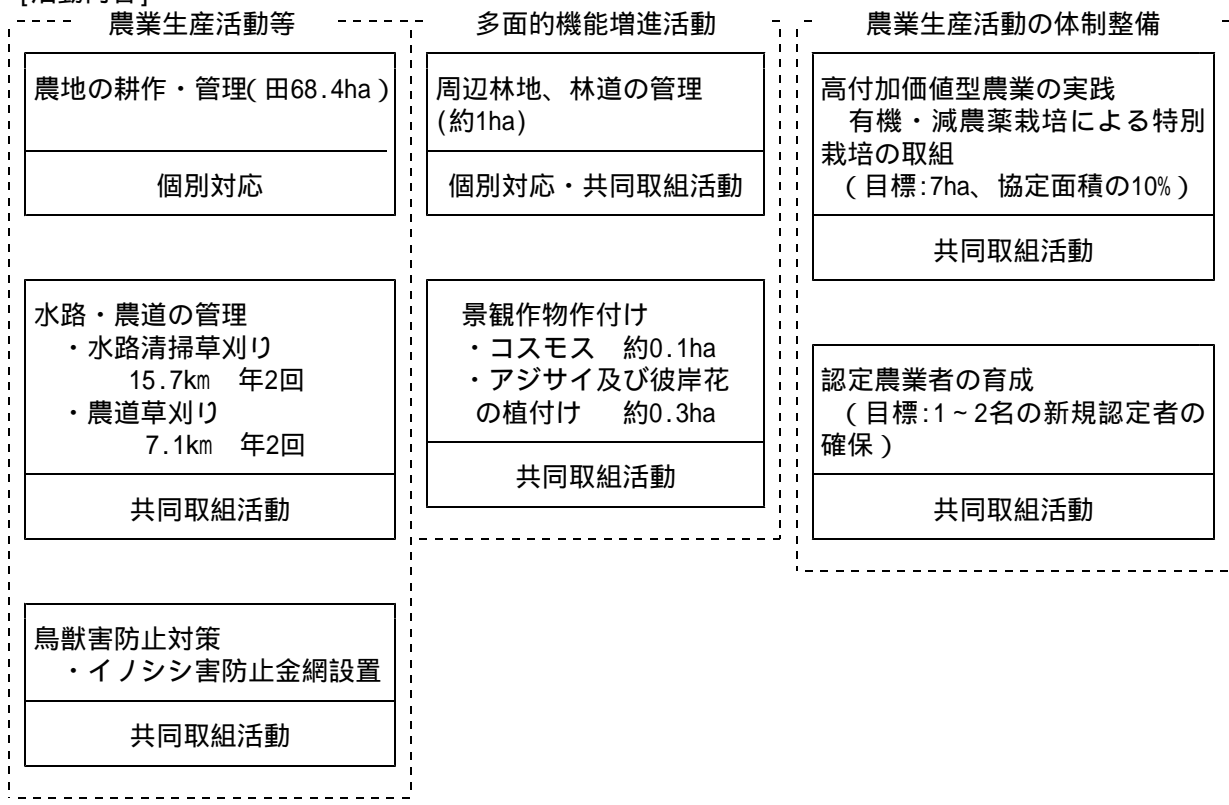
- ・ 農業経営者の兼業化や高齢化が進む中、農業後継者の不足による労働力の減少に対処するため、既存農業機械の効率的な共同利用や作業の受委託から取り組み、機械の更新時期における共同化への検討を進め機械貧乏からの脱却を図る。また、農地の管理や集積については、集落協定内において十分な話し合いを行い専業農家への集積を中心に十分な維持管理、有効利用を行っていく。
- ・ 年々増加するイノシシをはじめとする農地・農産物の鳥獣被害は農業の根幹を揺るがす大きな問題となっているため、個人は勿論、団地毎や集落全体での検討、取組を行い被害防止に努める。



[将来像を実現するための活動目標]

- 集落マスタープランの作成
- 農地の適切な維持管理
- 水路農道の適切な維持管理
- 多面的機能の増進活動
- 農用地等保全体制の整備
- 農道・水路整備計画及び実施
- 集落全域における鳥獣害防止対策防護柵等の設置
- 耕作放棄地の防止
- 農産物の特別栽培（有機・減農薬等）技術の習得
- 特別栽培農産物認証取得による高付加価値型農業の取組（目標：7ha、協定面積の10%）
- 集落内環境の維持保全活動

[活動内容]



4. 取組による変化と今後の課題等

設置時点での労力・時間はかなり費やしたが、共同での設置による地域力の強化に繋がるとともに、電気牧柵等の設置・管理・撤去作業が無くなり労力削減となった。

今後の課題として、金網は14~15年の耐用年数はあるものの、総延長50kmにおよぶ金網の外周りには、イノシシの掘り起こし跡が数多く見られ、日頃のこまめな点検管理や収穫後の関係者による共同点検活動を必ず行うなどの取り決めが必要である。

[平成20年度までの主な成果]

- 農産物の特別栽培（有機・減農薬）技術の習得（当初0戸 H20実績 14戸 水稻 2,252a）
- 特別栽培農産物認証取得（当初0戸 H20実績 14戸 水稻 2,252a）
- 認定農業者の育成（計画 1~2名の育成 H20までの実績 3名新規認定（計8名））